

まちづくり懇談会内容

日 時：令和 5 年 11 月 27 日（月） 16：00～17：27

場 所：御園公民館

出席者：10 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

3. 懇談

（１） これからのまちづくりについて（資料①）

（２） 自由懇談

教育長説明

4. その他

○ごみ分別内容の変更（資料②）

5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：今後の小中学校の見通しというはあるのか。

教育長：各地域や団体の意見を聞く場を立ち上げようと考えています。聞いた内容をまとめて会議を開くのかという事も含めてお知らせしながら進めていく事で考えています。

町民：栗山高校の維持、介護福祉学校の人員はどれ位の想定をしているのか。

教育長：栗山高校は2学級の維持。介護福祉学校は限りなく40人を確保できるよう勧めている。

町民：デマンドバスが北広島まで行っているが、J Rの関係で今後岩見沢にも走らせる事はあるのか。

町長：ＪＲについては維持存続に向けた協議会を作っています。その中で、維持とか廃止とかではなくて利用を促進するという事で集客を上げていく取り組みを進めています。コロナもあって収支が改善されていないというのが実態となっています。国のほうで収支の改善状況とか利用者の数等総合的な勘案をして一定の方針が出されると思うのでそれまでは維持存続に向けて進めていきたいと考えています。

町民：田んぼで令和８年までに水を張らないと転作の権利が失う。基盤整備事業を入れてもそうなるのか。

町長：非常に重要な事で若い方が将来に希望がもてる制度にして欲しいと一早く農水省に行って地域の声として届けてこうして行ってきました。地域の実情を見て欲しいと話しもしてきましたが、国はそれぞれの地域の実情を踏まえながらも一定の方針を出さないという事もあるって当てはまらない部分もあったりする。

町民：介護福祉学校の卒業生は栗山で就職できる受け皿はあるのか。

教育長：ある時とない時がありますが、来年度に向けて話しは進んでいます。具体的に全員行くかどうかはわかりませんがそういう話しはあります。ただし、事業者から要望がないと入れる事ができませんのでそういう取り組みは行っています。

町民：ファブラボはよく利用させていただいている。他の所から比べると格安な為、その事を町内外の方に周知ＰＲしていただければと思います。

教育長：小中学校で連携が図れないかということでプログラミング教育に携わって学校教育で広めていく事を考えている。

町民：栗山監督のパレードはどの程度経済効果があつたのか。

町長：試算はしていないが、町内外から 14,000 人程が来ていただいた経済効果と、一番大きいのはメディアで栗山町という名前が出た事によりお金には換算できない経済効果となった。

町民：赤十字病院の病床数が減少になる理由を教えて欲しい。

町長：今は 136 床あり稼働率が八割位となっている。人口が減っていく中で入院患者数も減っていく見通しも出されているので、今は 103～105 床位入っているのでそれを維持していきたいという事での病床数としました。減っていく分は町も連携して営業努力もしていかなければならない。

町民：人口が減っていきますという事で増やすという考え方は無いのか。

町長：人口減少率を抑えていこうというのが目標であげていて、８年後には老年人口が生産

年齢人口を上回ってしまう。経済にゆがみが出て稼げないという事になっていく。生産年齢人口を増やす事を目標に取り組みを考えている。

町民：生ゴミの排出はまとめて投げていいのか。

環境政策課長：水分を切ってもらい燃やせるゴミで排出をお願いします。

町民：ステーションの修理が必要な場合は町で負担してもらえるのか。

環境政策課長：維持管理は町内会自治会で管理していただく事となる。